

内容(予は要予約)	とき	対象(対は対象)
親子健康手帳交付	12日(金) 22日(月)	10:00 集合 妊婦
予パパママ教室(1回目) ※定員10組	25日(木)	10:30受付~11:30終了 主に妊娠6か月ごろまでの初妊婦とそのパートナー
予パパママ教室(2回目) ※定員 平日7組、 土日10組	11日(木) 28日(日)	13:15受付~15:00終了 9:15受付~11:00終了 主に妊娠7か月以降の初妊婦とそのパートナー ※3日前までに予約がない場合は中止
予妊婦訪問	訪問は予約制です。(希望者は保健センターへ連絡してください)	
こんにちは赤ちゃん訪問	3~4か月児健診受診前 すべての赤ちゃんとその保護者	
のびのび 計測日※1	青少年児童センター 南児童館 保健センター	9日(火) 16日(火) 26日(金)
予離乳食教室	15日(月)	10:00~11:15 主に第1子(4~5か月)をもつ保護者(乳児同伴可)
予妊産婦歯科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください 妊婦と産後1年未満の産婦	
予子宮頸がん検診	9日(火)	20歳以上の西暦奇数年生まれの女性(昨年度受診していない西暦偶数年生まれの人も可)
予個別子宮頸がん検診	2月29日までに市内委託医療機関で受診してください	
予子宮頸・乳がん検診	15日(月)、19日(金)、30日(火)	40歳以上の西暦奇数年生まれの女性(昨年度受診していない西暦偶数年生まれの人も可)
予乳がん検診	17日(水)、23日(火)、25日(木)	40歳以上の西暦奇数年生まれの女性(昨年度受診していない西暦偶数年生まれの人も可)
予個別乳がん検診	2月29日までに市内委託医療機関で受診してください	
予歯周病検診	1月31日までに市内委託歯科医院で受診してください	20歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳
予39歳以下・子宮頸がん検診	10日(水)	20~39歳で西暦奇数年生まれの女性(昨年度受診していない西暦偶数年生まれの人も可)
予ロタウイルス	対1価ワクチン 出生6~24週 5価ワクチン 出生6~32週	
予B型肝炎	対生後1歳未満	
予ヒブ、小児用肺炎球菌	対生後2~60月に至るまで	
予4種混合、不活化単独ポリオ	対生後2~90月未満	
予BCG	対生後1歳未満	
予麻しん・風しん混合、麻しん単独・風しん単独	対第1期 生後12~24月未満 第2期 小学校入学前の1年間	
予水痘	対生後12~36月未満	
予日本脳炎	対1期 生後6~90月未満 2期 9~13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり	
予二種混合	対11~13歳未満	
予子宮頸がんワクチン 2価・4価・9価	対小学6年生~高校1年生の女子 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり	
予高齢者インフルエンザ	対65歳以上、60~64歳は条件あり	
予高齢者肺炎球菌ワクチン	対65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳 (65歳になる方以外は経過措置)	
予新型コロナワクチン	対生後6か月以上の人 他 3月31日まで、XBB対応ワクチンの追加接種を1回受けることができます。接種券が届かない場合は、健康推進課まで問合せください。	

母子保健

成人保健

予防接種

その他お知らせ

納期限(1月31日)		
税目	納期	問合せ先
市・県民税	第4期	収納課 ☎56-0610
国民健康保険税	第7期	
後期高齢者医療保険料	第7期	保険医療課 ☎56-0617

口座振替の人は、納期限の日に引き落としますので、残高を確認してください。

日曜・祝日・年末年始の受診は

東名古屋医師会休日急病診療所
☎0561-73-7555

診療日時	日曜・祝日・年末年始 9:00~16:30 (昼休憩1時間あり)
診療科目	内科・小児科
所在地	日進市蟹甲町中島22

急な病気・ケガの時は

救急医療情報センター
☎0561-82-1133


24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。
☎0561-62-3311(代表)

なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学病院へ問い合わせください。

まちの保健師
保健師がさまざまな場所に出向き、健康相談をお受けします。詳細は市HPへ。



ドクターからあなたへ

救急車の適正利用について

もりの眼科 荒井 北斗

2022年の救急車の出動件数は全国で約723万件と、新型コロナの影響もあり前の年よりも103万件以上増えました。過去最多となっており、救急車の使われ方に改善が必要なことが明らかとなっています。誰かが安易に救急車を利用すると、本当に救急車を必要とする人が利用できなくなり手遅れになる事態もあります。救急車を呼ぶ前に、救急車を呼ぶ緊急性があるかどうか考えてみましょう。

さて「第23回 あのドクターに あのお話を」を下記の日程で開催します。市民の皆さんにご好評をいただいているシリーズ企画です。

第1部講演では、朝日が丘整形外科 塚本正美院長より「人生を楽しむための人工関節」、あやこ長久手皮ふ科 森下綾子院長より「健康寿命をのばすためのフットケア」、スズムラ眼科医院 鈴木好人院長より

「眼底写真でわかること」、あいち脳神経クリニック 丹羽愛知院長より「脳を知り己を知れば百戦危うからず」をお話いただけます。

第2部の「会場の皆さんとおはなしタイム」では、疑問に思ったことを気軽に質問いただくのはもちろん、あのドクターの意外な素顔をご覧いただくこともできるでしょう。

皆さんの暮らしに役立つ、知らないと損する情報がいっぱいです。是非ご参加いただいて、健康で楽しい日々を送りましょう。

第23回 あのドクターに あのお話を

問 もりの眼科 ☎64-3232

時 1月13日(土) 14:00~(13:30開場)

場 文化の家 森のホール